

この度、ベトナム、マレーシアからのゲスト講師及びHBMSの横山禎徳研究科長による授業を、HBMSの受験・入学を検討している方、HBMS及び授業内容に興味・関心のある方を対象として一般公開します。

生産と消費の新たなネットワーク 東南アジアグローバルビジネスの先を読む

日本企業の進出が続くアジア地域、中でも東南アジアの経済潮流はこれまでになく多様にうずまいている。企業進出により、圏域内・外で新たな生産ネットワークが構築され、各国・地域の貿易構造にも変化をもたらしているなか、今後どのような経済連携が起こるのだろうか。

今回はマレーシアとベトナムの二つの異なる経済潮流に焦点を当て、専門家をお招きした。両国そして日本のビジネス環境として共通する問題点…この国に特徴的な問題点をもとに沸騰する東南アジアのビジネスのその先を見据える。

対象

● HBMSの受験・入学を検討している方 ● HBMS及び授業内容に興味・関心のある方

開催日

2018年 **8月25日** 土 13:00~17:00

開催場所

県立広島大学 広島キャンパス 2143大講義室
広島市南区宇品東1丁目1-71

定員

100名 **参加無料**

申込締切

2018年8月24日(金)

お申込み方法

HBMSのウェブサイトにてお申込み下さい。



ベトナムのビジネス環境 ～日本・ベトナムのマーケティング比較～

ベトナム国家大学ハノイ校 経済経営大学経営管理学科

ホー・チー・ズンマーケティング部門長/博士

プロフィール

民間企業で営業職を経験後、大学教員となる。国民経済大学で18年間マーケティングを指導し、2016年よりベトナム国家大学ハノイ校経済経営学部のマーケティング部門長となる。博士(マーケティング)。



サステナブルな国家の構築 ～マレーシアの企業と消費者の役割について～

マレーシア・マラヤ大学 ビジネス・会計学部

ユスニザ・カマルルザマン副学部長

プロフィール

研究分野は、グリーンマーケティング、観光マーケティング、小売り、デジタルマーケティング。マレーシア・マラヤ大学の元マーケティング学科長であり、マラヤ大学イノベーション・コマーシャライゼーション(市場化)センターのディレクター。現在は、マラヤ大学ビジネス・会計学部の副学部長であり、学部および大学院で、マーケティングマネジメント、小売、グローバルマーケティング、デジタルマーケティング、ブランディングを指導。



マレーシアにおけるグリーンエコノミーの政策と実践

マレーシア・マラヤ大学 ビジネス・会計学部 ファイナンス・バンキング学科

ヌール・シャナーズ・アフマド・マフザン准教授

プロフィール

専門分野は、経済研究、リスク管理、世帯財政。学界でのキャリアに入る前に、銀行業界や保険業界で10年間勤務。経済学、金融学およびビジネス分野の国内外の雑誌に多数の学術論文を発表。マラヤ大学経営大学院の元MBAコーディネーター。現在は、学部および大学院で金融および経済学のコースを指導している。MBAホルダーであり博士(経営学)。

【お問い合わせ先】

公立大学法人 県立広島大学 MBA業務推進担当

TEL:082-251-9726 E-MAIL:mba-office@pu-hiroshima.ac.jp

<http://mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/>

HBMS MBA

検索

